

シーン - 9 自然の家ハイブリッド街路灯整備事業

事業目的

屋外宿泊体験などをはじめとする自然体験を行う「自然の家(蔵王・志津川)」に、太陽光・風力を利用したハイブリッド街路灯を設置し、自然エネルギーの有効活用に触れる機会や最先端技術の学習機会を創出し、環境立県を支える人材を育成します。

事業内容

【平成26年度事業費】 6,912千円
【平成26年度事業量】 志津川自然の家 2基
志津川自然の家の玄関前駐車場及びボンファイア会場地に、ハイブリッド街路灯を設置し、自然エネルギーの有効活用と省エネ効果を可視的に表示し、環境問題についての意識を啓発します。

ハイブリッドとは、2つ以上の異質なものを組み合わせることにより、より良くなることをいいます。ここでは、太陽光と風力という2つの自然エネルギーをより効果的に活用しようとするものです。

事業効果

CO2削減効果	0.1t - CO2
その他	-

(平成26年度年間平均利用者数
43,000人)



現状

商用電力からの電力供給による照明に伴う、二酸化炭素の排出



税導入後のイメージ

太陽光・風力の自然エネルギーを活用した照明による二酸化炭素排出抑制
環境問題への意識啓発

